



AKIBA ホールディングス

2022年 3 月期 第 3 四半期決算説明資料
2022年 2 月10日

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

セグメント

2022年4Qからシーアールボックス連結子会社化へ

メモリ製品製造販売
(メモリ)

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社
メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等

通信コンサルティング
(通信)

株式会社バディネット

エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等

※iconic Storageとトランセンエンジニアリングは2021年4月1日にバディネットに吸収合併

HPC
(HPC)

株式会社HPCテック

科学技術コンピュータの製造・販売

その他
(旅館)

株式会社ダイヤモンドペッツ&リゾート

旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業
不動産事業 等

※ 2022年2月10日現在

概況

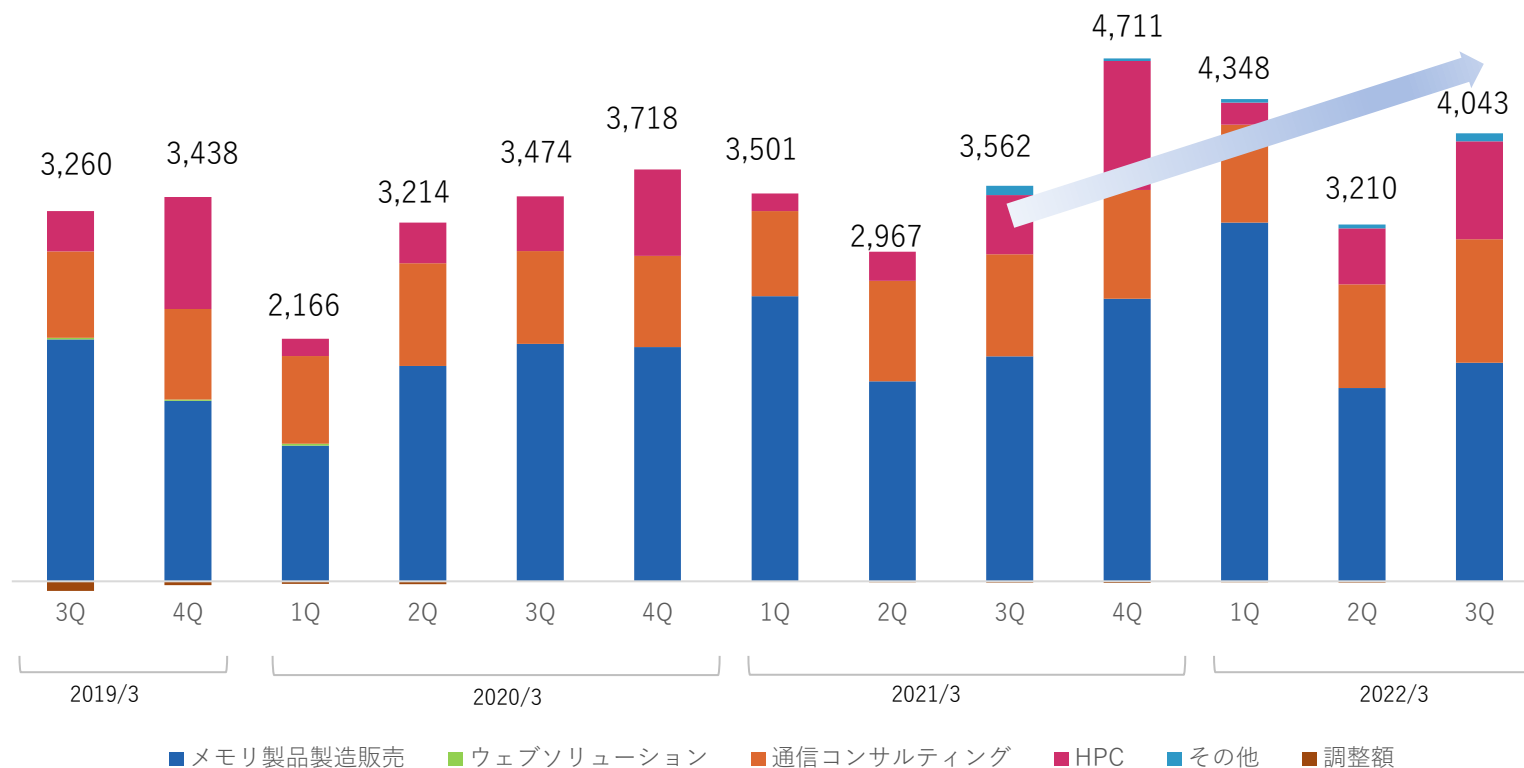
2Qまでの先行投資吸収して増益に転じる

	連結	全報告セグメントで累計増収、連結利益も増加に転じる 売上高 : 11,603 前年同期比 : 115.7% 営業利益 : 470 前年同期比 : 100.2%
	メモリ製品製造販売 (メモリ)	単Qでは若干減収、法人向けメモリ復調継続で増収増益維持 売上高 : 6,958 前年同期比 : 108.6% 営業利益 : 272 前年同期比 : 126.4%
	通信コンサルティング (通信)	各種通信関連工事増加で増収、増加費用吸収し利益改善 売上高 : 2,935 前年同期比 : 112.9% 営業利益 : 237 前年同期比 : 93.6%
	HPC (HPC)	半導体調達厳しいものの、営業環境改善続き、増収増益 売上高 : 1,588 前年同期比 : 165.9% 営業利益 : 100 前年同期比 : 136.9%
	その他 (旅館)	単Qでは営業黒字転換も、累積赤字解消に至らず損失計上 売上高 : 138 前年同期比 : - 営業利益 : -31 前年同期比 : -

※ 単Q=3Q単独、別途指定ない限り比較対象は前期同Q

連結売上高

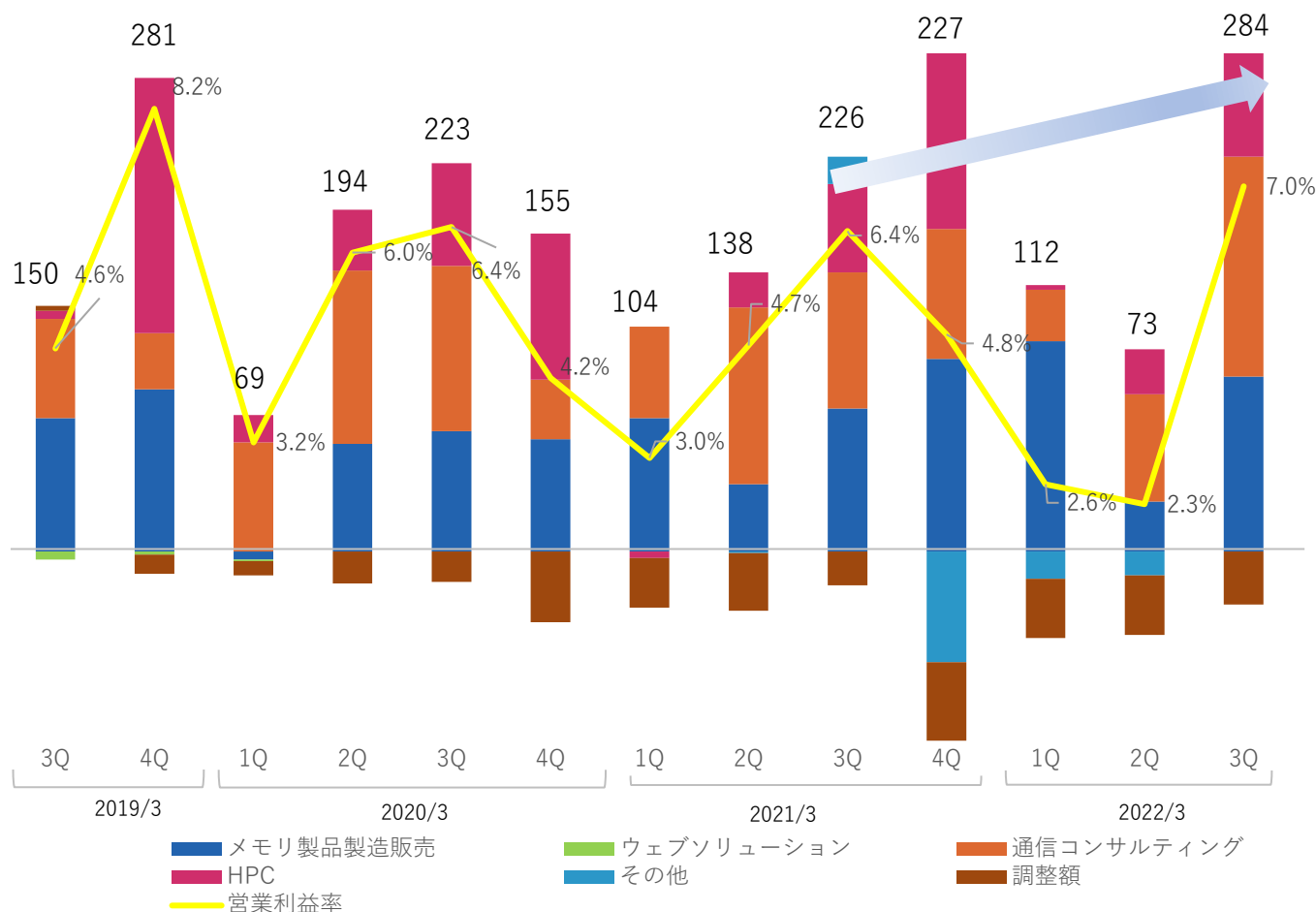
通信、HPC増収で、単Q、累計とも増収



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結営業利益

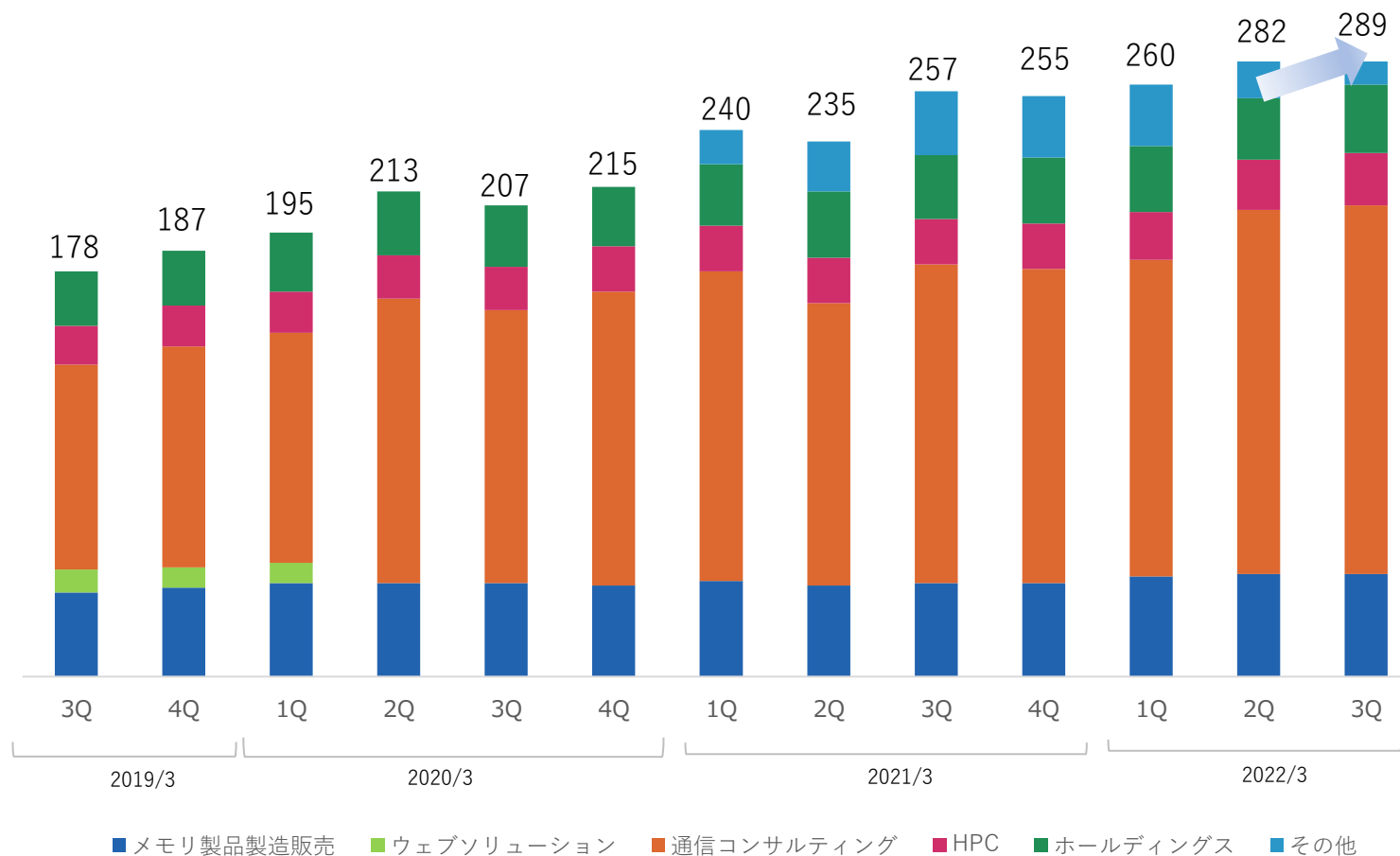
全報告セグメントで単Q増益、通信、単Q最高益計上



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

役職員数

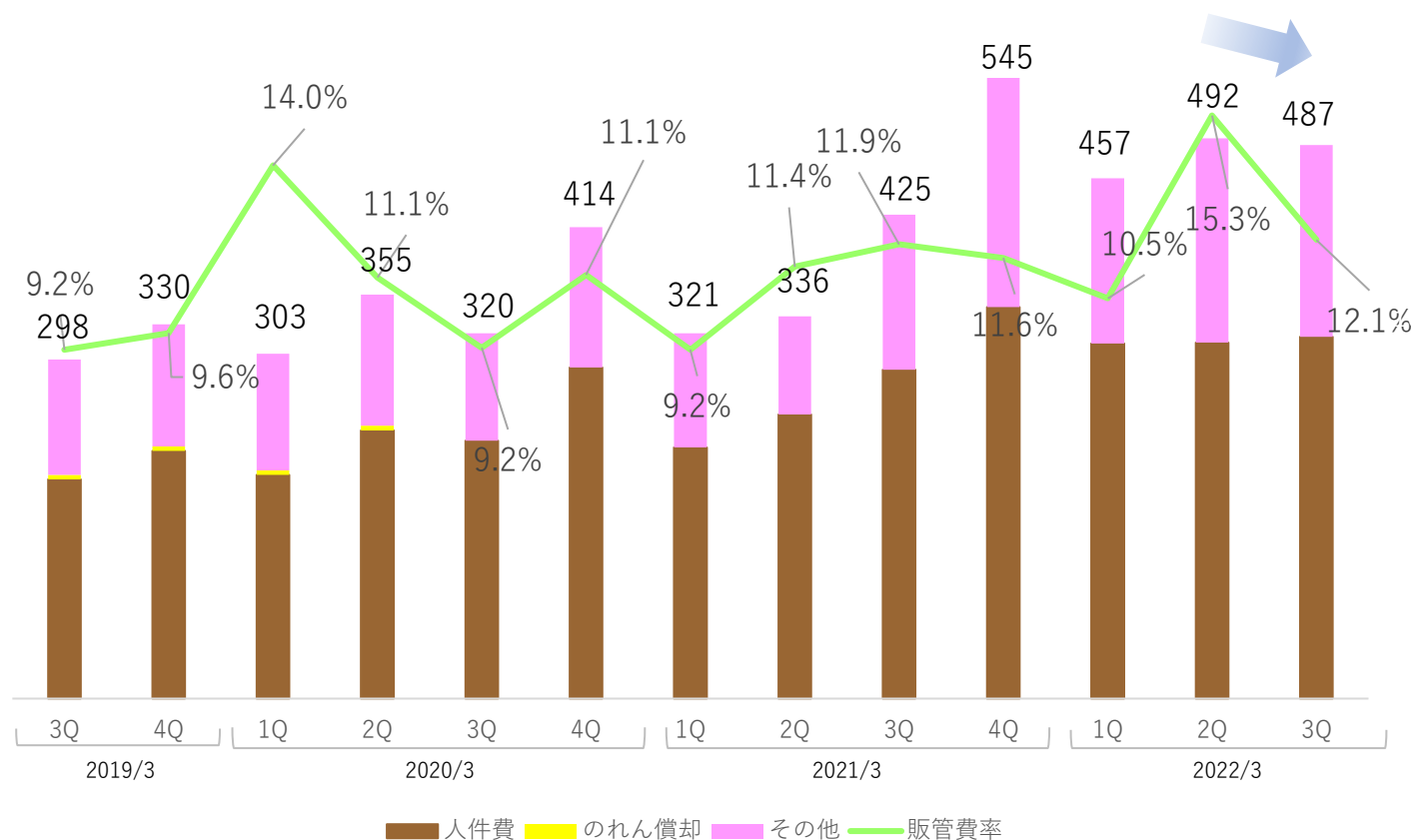
事業規模拡大、採用難克服し増員続く



※ 各年度末実績、役職員＝役員、正社員、契約社員、アルバイト

販売費及び一般管理費 会計期間

販管費総額同水準も、増収により比率改善



※ 人件費＝給与、役員報酬、賞与、退職金、通勤交通費、法定福利費、採用費、教育費、福利厚生費（引当金含む）

連結貸借対照表

部材調達難対応継続で棚卸資産増加続く

	2021年3月期 期末	2022年3月期 第3四半期末	前期末比	トピックス
流動資産	7,976	7,969	99.9%	・ 棚卸資産増加等で現預金減少 ・ 増収で売掛債権増加、前期末水準に ・ 部材調達難、長納期対策継続、棚卸資産増加続く ・ 黒字継続で利益剰余金増加、10億円台に
現預金	3,752	3,113	83.0%	
売掛債権	3,351	3,319	99.0%	
棚卸資産	705	1,315	186.5%	
固定資産	403	406	100.6%	
繰延資産	—	—	—	
資産合計	8,380	8,375	99.9%	
流動負債	5,414	5,060	93.5%	
短期借入金	2,800	2,850	101.8%	
買掛金	1,644	1,492	90.8%	
固定負債	718	740	103.1%	
長期借入金	596	585	98.2%	
負債合計	6,133	5,801	94.6%	
株主資本	2,042	2,344	114.8%	
資本金	700	700	100.0%	
利益剰余金	872	1,175	134.6%	
負債・純資産合計	8,380	8,375	99.9%	

連結損益計算書

全報告セグメントで累計増収、投資効果もあり増益に

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前期比	トピックス
売上高	10,031	11,603	115.7%	・全報告セグメントで累計増収 ・メモリ、通信売上総利益率改善続き、売上総利益拡大 ・事業拡大の投資により固定費増加、販管費前期比大幅増加 ・旅館は単Q黒字化も累計では営業赤字計上続く ・シーアールボックス連結による負ののれんの特別利益発生
売上原価	8,478	9,695	114.4%	
売上総利益	1,552	1,907	122.9%	
販売費及び一般管理費	1,083	1,437	132.7%	
営業利益	469	470	100.2%	
営業外収益	22	22	96.3%	
営業外費用	16	19	113.2%	
経常利益	475	473	99.6%	
特別利益	—	45	—	
特別損失	—	6	—	
税金等調整前当期純利益	475	512	107.8%	
法人税等合計	198	188	95.0%	
当期純利益	276	323	117.1%	
非支配株主に帰属する当期純利益	17	21	121.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	258	302	116.7%	

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

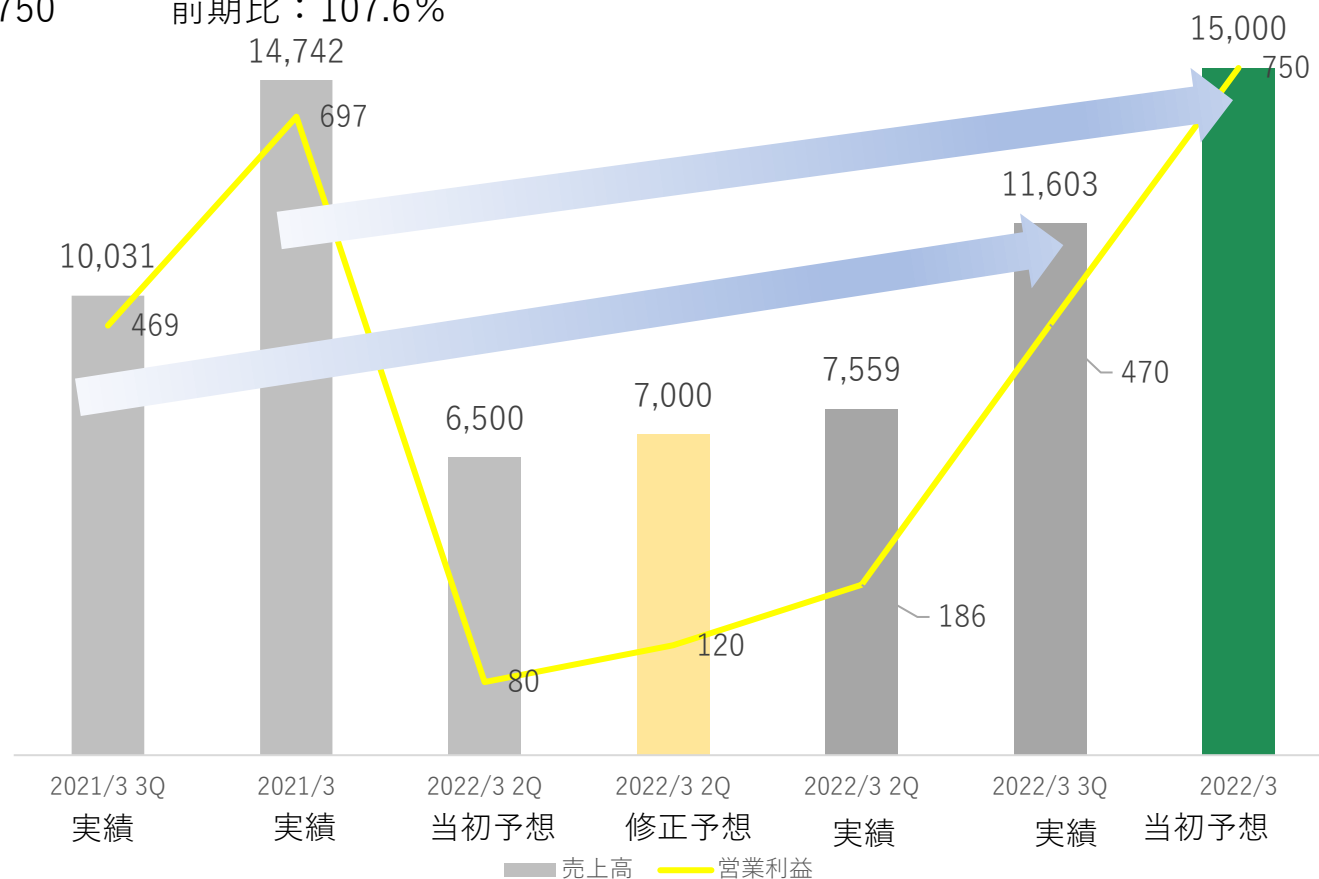
業績予想

成長投資と5期連続増収営業増益の両立を目指す

第3四半期累計期間の業績は、通期業績予想達成に対して順調な進捗

[通期予想]

売上高：15,000	前期比：101.7%
営業利益：750	前期比：107.6%

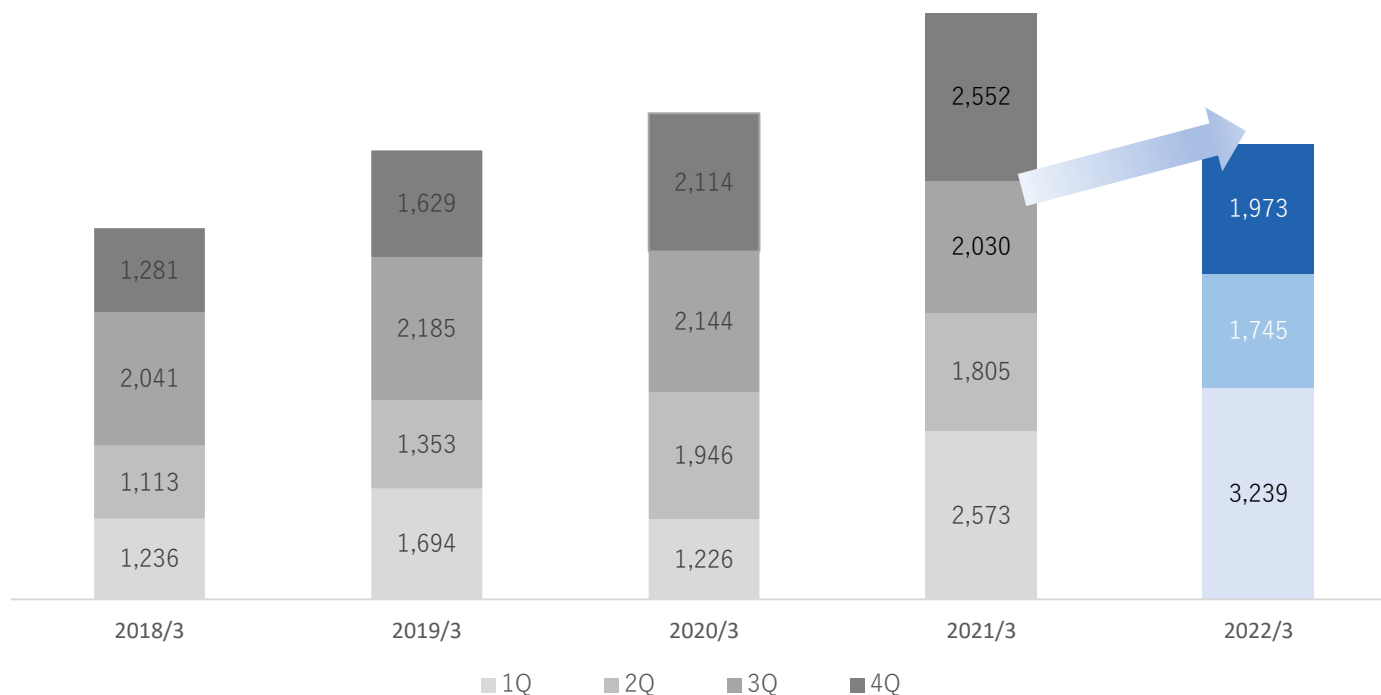


1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

売上高

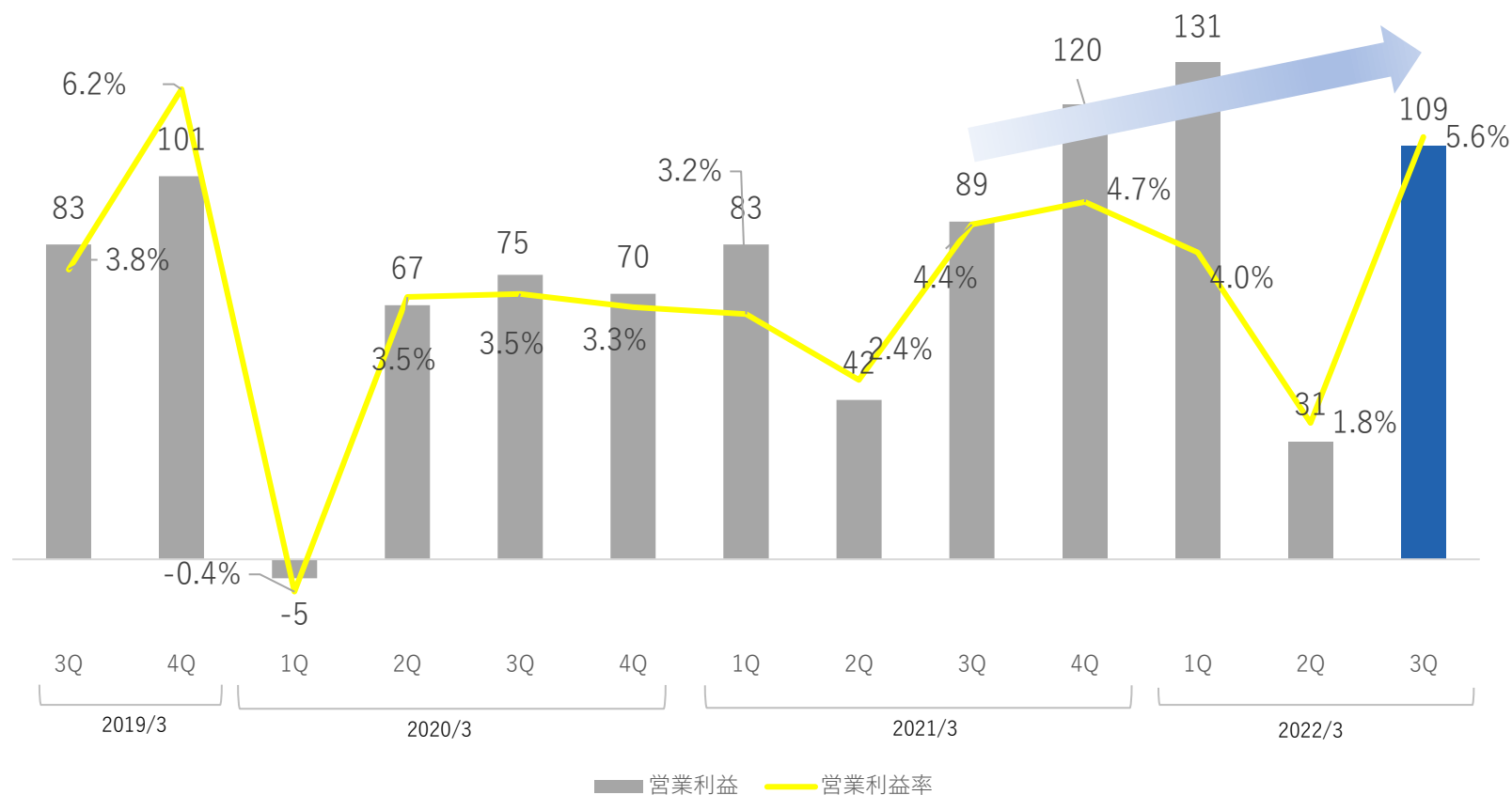
- ・法人向け、産業用メモリ製品、需要回復、顧客の先行入手傾向続き売上拡大
- ・法人向け復調続く一方、部材販売単Qで前期比微減、セグメントはQ単独で微減
- ・IoT、需要旺盛も半導体不足による部材調達難の影響で前年並みの水準にとどまる
- ・IoT、市場部材の積極的採用、市場部材調達先の追加で部材不足に対応



3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

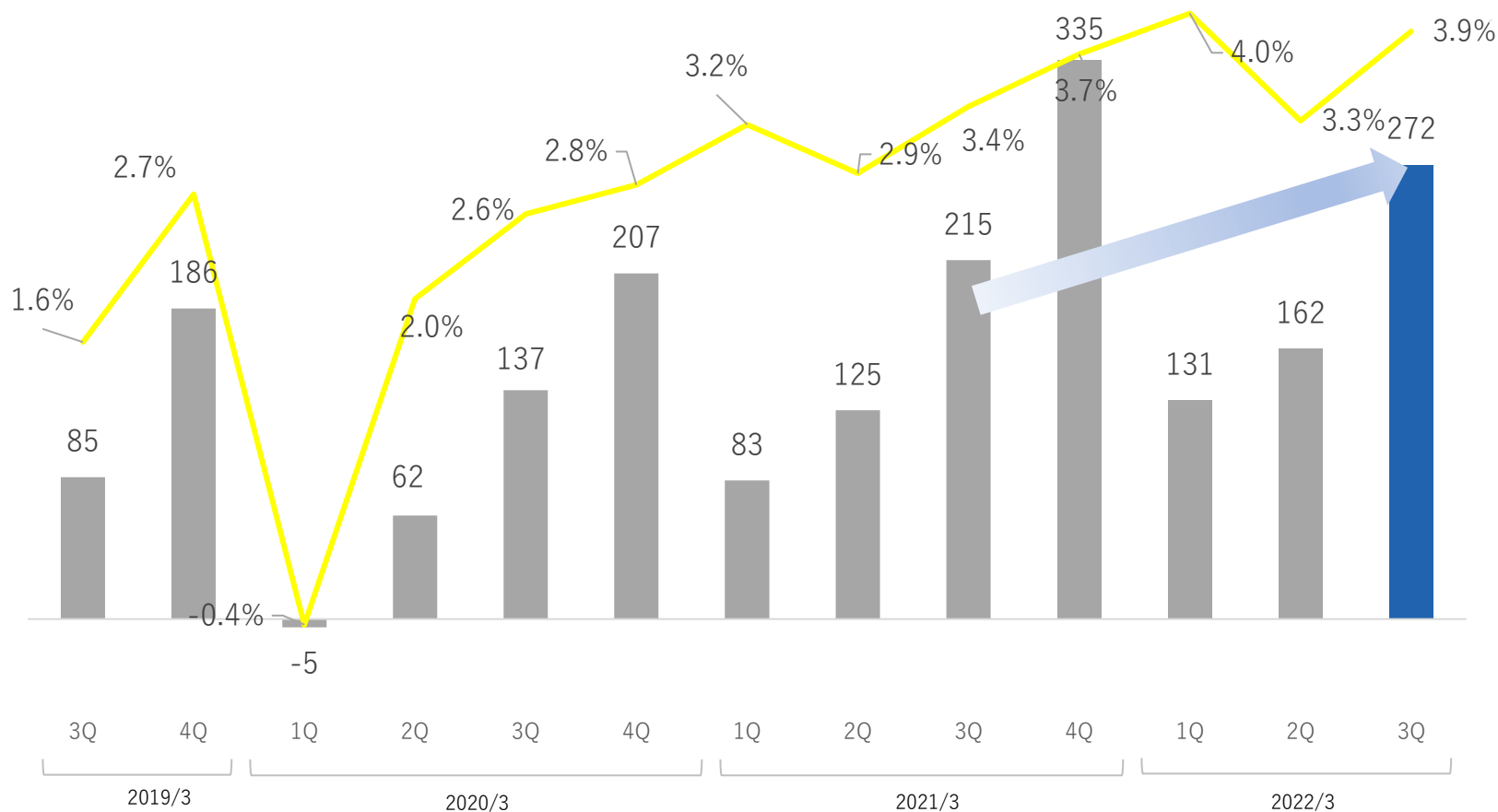
営業利益 会計期間

- ・法人向け、産業用メモリ製品の需要拡大による増収で利益確保、大幅増益に
- ・部材販売の比率低下、法人向け、産業用メモリ製品増加でセグメントの粗利率向上
- ・法人向け、産業用メモリ製品、半導体価格高騰に対応する価格戦略で利益確保図る
- ・IoT、開発費用の計上もあり単Qでは粗利率低下も、累計では粗利率向上



3.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

営業利益 累計期間



■ 営業利益 — 営業利益率

ニューストピックス

PMIC搭載新製品開発、展示会出展

2022年1月12日 [販売開始]

最新規格DDR5メモリモジュール 発売開始

DDR5-4800 UDIMM 8GB、16GB、32GBの3製品
販売開始。

PMIC(Power Management IC/電源管理集積回路)
を搭載。今までPC側で行われていたメモリモジュ
ールの電源管理をモジュール側で行い、高クロッ
クでのより安定した動作を実現し、データ転送速
度の向上や抵抗器・コンデンサなどの子部品の実
装点数を大幅に減少することを実現。

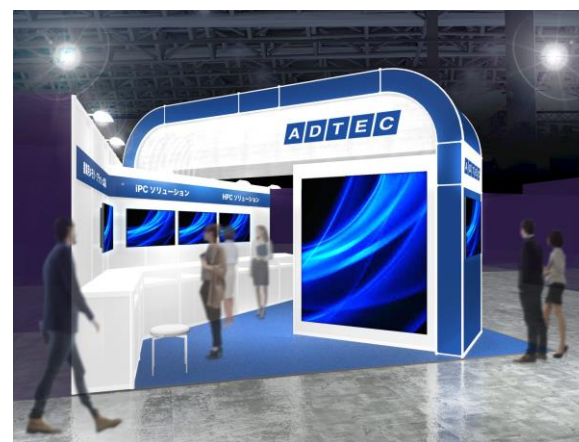


2022年1月19日～1月21日 [出展]

第6回 [関西]IoT & 5Gソリューション展に出展

インテックス大阪にて開催する2022 Japan IT
Week 関西内の第6回 [関西]IoT & 5Gソリューシ
ョン展に出展。

IoT、IPC（産業用パソコン）、HPC（ハイパフ
ォーマンス科学技術計算機）の各ソリューション、
及び、高い品質と信頼性、安心サポートの産業用
メモリソリューションを展示。



※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

個人向け製品ラインナップ拡充

2021年11月24日 [販売開始]

ノートパソコン用マルチプラグケーブル販売開始

内蔵ICで適正電圧を感知、安定伝送を実現した10種類の変換コネクタがセットになった USB Type-C から DC への変換ケーブルで、ノートパソコンの充電に適したマルチプラグケーブル。



2021年12月21日 [販売開始]

4K 出力対応・Power Delivery 対応 充電器販売開始

Type-CポートとType-Aポートと4K/HD映像出力ポートを搭載。USB HUB機能も搭載することで、USBメモリの高速転送やキーボード、ゲームパッドなど接続可能。



※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

カスタム電源メーカーグループインでIoT開発強化

2021年10月にカスタム電源メーカーであるシーアールボックスがグループイン、今後重要性が増す電源関連ビジネスに参入すると共に、電源の技術ノウハウを得て、IoT関連事業の強化を図る。IoT関連の製品開発を同社と共同で着手。

太陽光発電向けのパワーコンディショナー、監視端末、農業、畜産、水産等一次産業向け端末の開発を2022年中の量産を目標に進める。

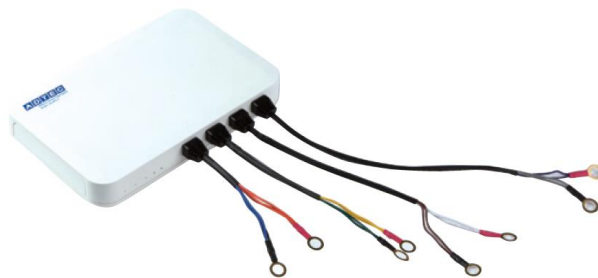


シーアールボックス株式会社



【カスタム電源ボード】

【IoT通信端末】



※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

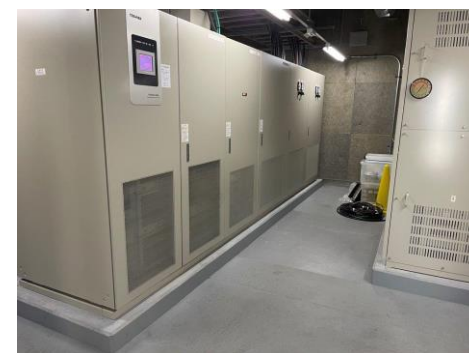
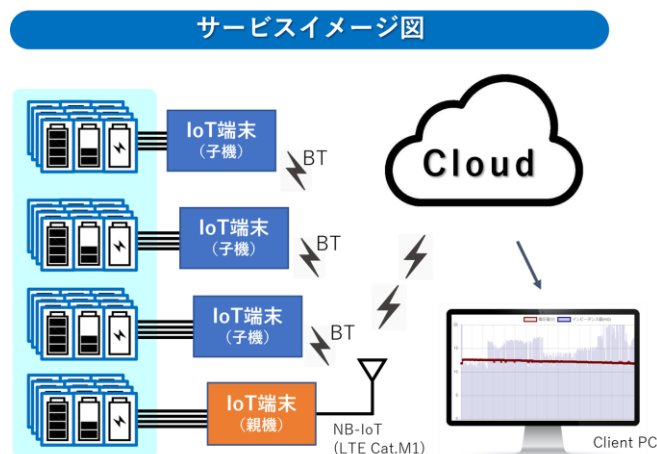
ニューストピックス

IoT端末、鉛蓄電池遠隔監視システム量産準備中

継続開発中であった鉛蓄電池遠隔監視システムの開発が完了、2021年10月の二次電池展に出展。
基地局、ビル施設、UPS、移動車輛関係の事業者を中心に注目を集め、デモ機での評価の引き合い多数。
来期量産出荷に向けて評価継続中。



【鉛蓄電池遠隔監視端末】

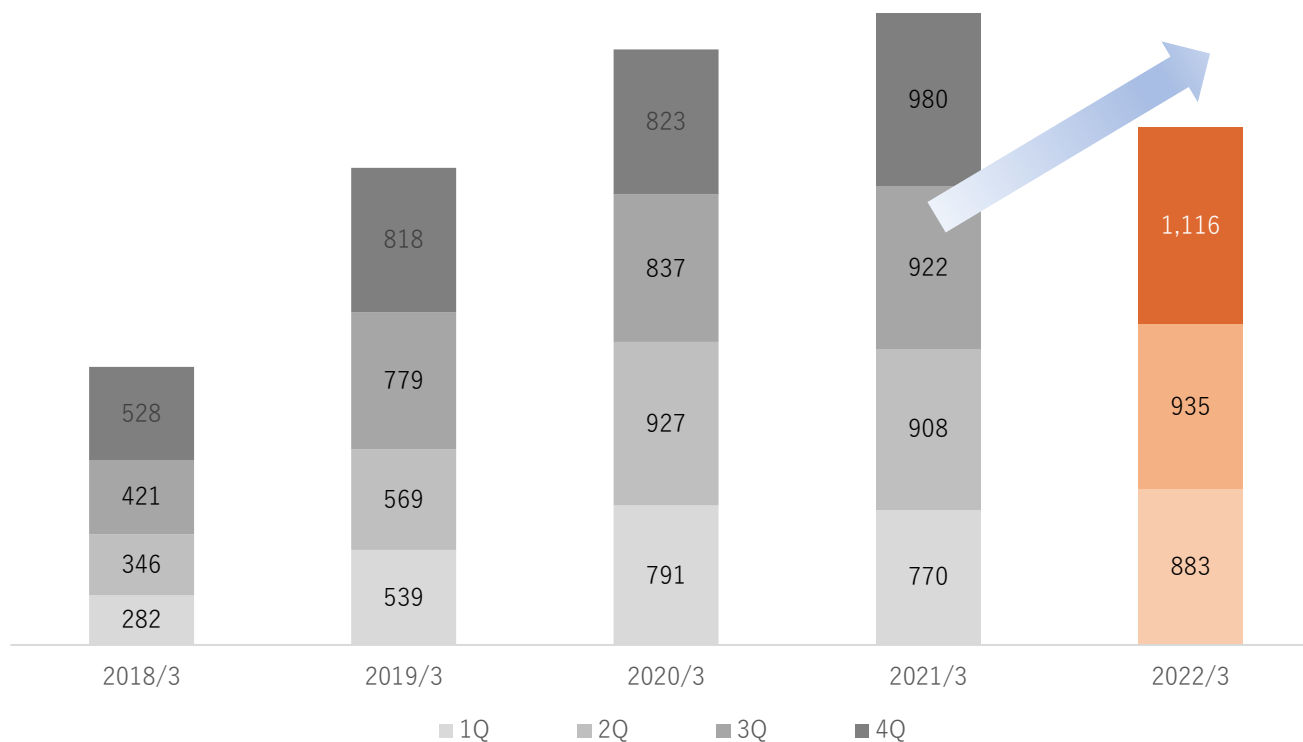


※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

売上高

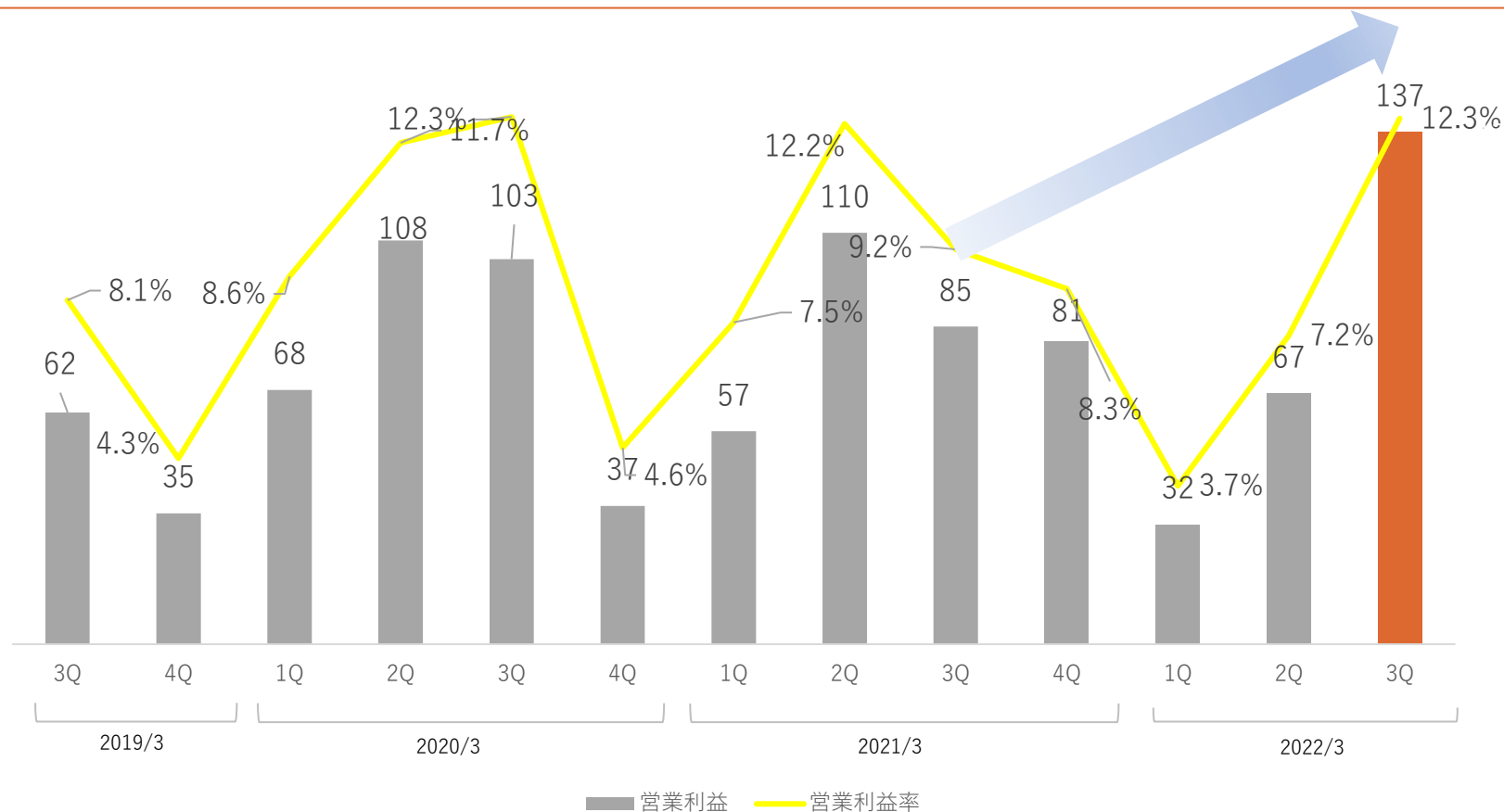
- ・ 単Q、累計とも過去最高の売上高を計上
- ・ キャリア3Gサービス終了に伴うマイグレーション工事本格化で受注件数増加
- ・ 家庭向け光回線工事の受注件数増加、エリア拡大を含めた工事体制強化
- ・ 東京コンタクトセンターの増床により大幅増収、和歌山コンタクトセンターも増床予定



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

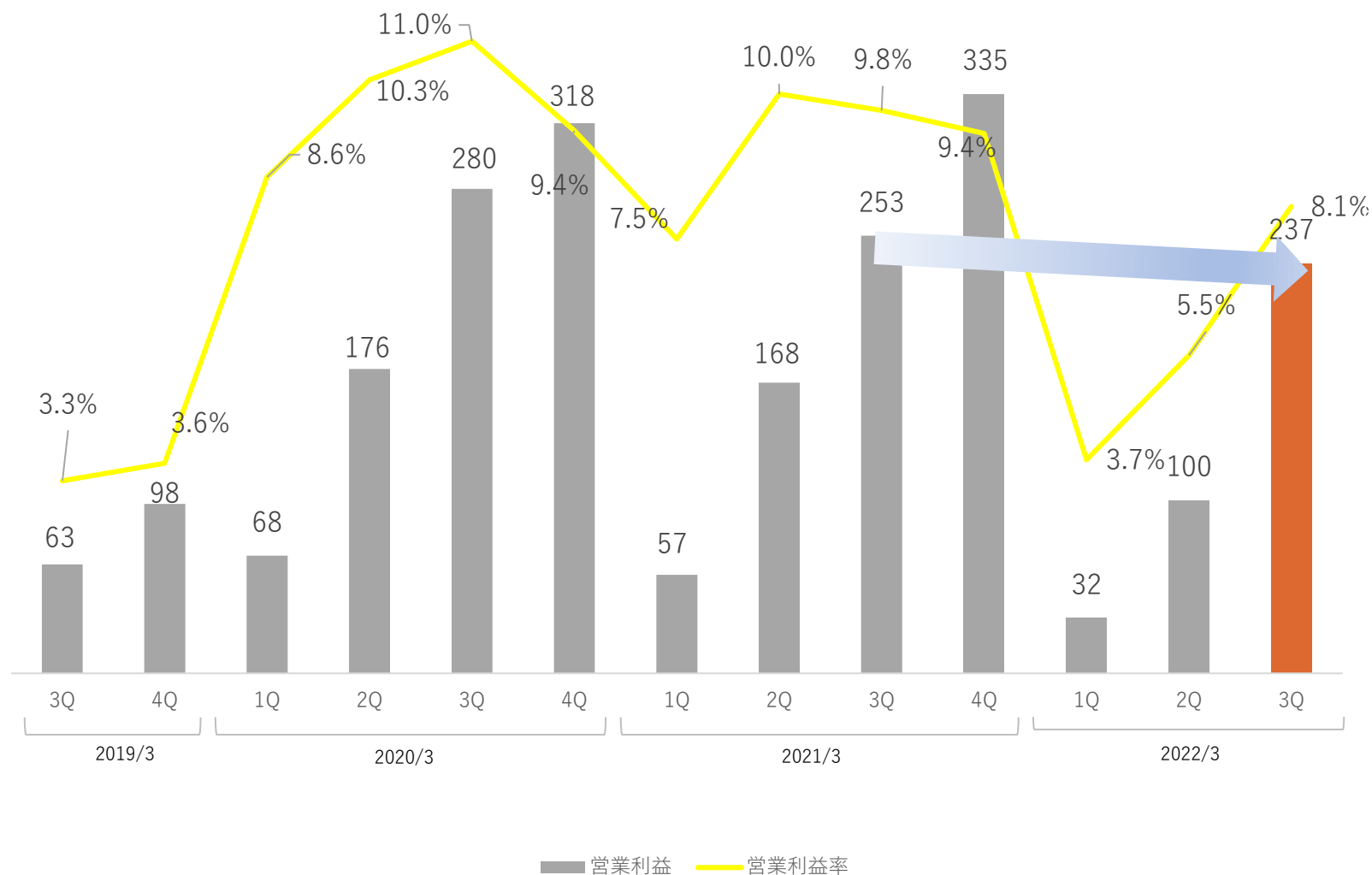
営業利益 会計期間

- ・単Qにおける過去最高益を計上、累計も上期の大規模投資を回収し減益幅大幅縮小
- ・マイグレーション工事本格化等による屋内電波工事完了件数増加で利益拡大
- ・『ポリマテリアル充填』工事及び関連事業の取り組み強化
- ・コンタクトセンターのIT化による効率化、オペレーター直接雇用比率拡大による原価削減



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

営業利益 累計期間



3.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

ニューストピックス

引き続き体制構築とブランディング強化、事業拡大を図る

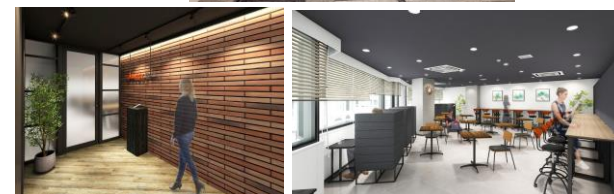
FACILITY

プレスリリース 2021.12.17

関西エリアにおける5G・ローカル5G等の業務拡大により、大阪オフィスを移転・増床

プレスリリース 2022.1.27 (第4Q期間)

バディネット5G/IoTサービスの需要拡大で和歌山コールセンターを増床
～全国三拠点24時間365日の有人コンタクトセンターで事業立ち上げから運用支援～



BRANDING

プレスリリース 2021.10.12

通信建設をICTの徹底活用で低コスト化する「通建テック(通信建設テック)」商標登録完了



SDGsの取り組み

プレスリリース 2021.11.8

新型コロナウイルス感染症でDX化に悩む教育施設の通信環境整備をCSR活動で無償提供



※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

今後の重点項目

ポリマテリアル®充填工法の体制強化

- ▶対象局の選定やフローの確立、5G新設・増設作業とのスケジュール調整等に想定外に時間を要し、正式なスタートが4Qからとなった。来期にかけて工事件数が増加見込の為、体制強化により早期の完工を目指す。

ローカル5G関連事業の取り組み強化

- ▶昨年5月よりサービス立上げに参画していた大手通信事業者のローカル5Gサービスが2022年春頃サービス開始を発表。当社もサービス構築phaseに加えて、プレサービスからのインフラ構築（施工）phaseに追加着手。来期以降の業績寄与に期待。

【通信建設×ドローン活用】による新サービスへの取り組み強化

- ▶携帯通信各社が推進強化する、AIカメラを装着したドローンによる通信鉄塔や基地局の外観点検事業を受託。今後、携帯基地局関連工事でのドローン活用に加えて、当社が得意とする特定のエリアで利用するネットワーク（ローカル5GやWi-Fi等）の知見・体制を活用し、工場や倉庫内におけるドローン活用のマーケットに向けたネットワークコンサルサービスの確立を図る。

クラウドカメラ設置工事の受注件数増加への対応する体制強化

- ▶国内のクラウドカメラサービス市場は急成長しており、当社は国内NO.1のネットワークカメラ会社の構築・保守を一手に担っている。日々増加する受注に対し、体制強化によりパフォーマンスと品質の安定供給を図る。

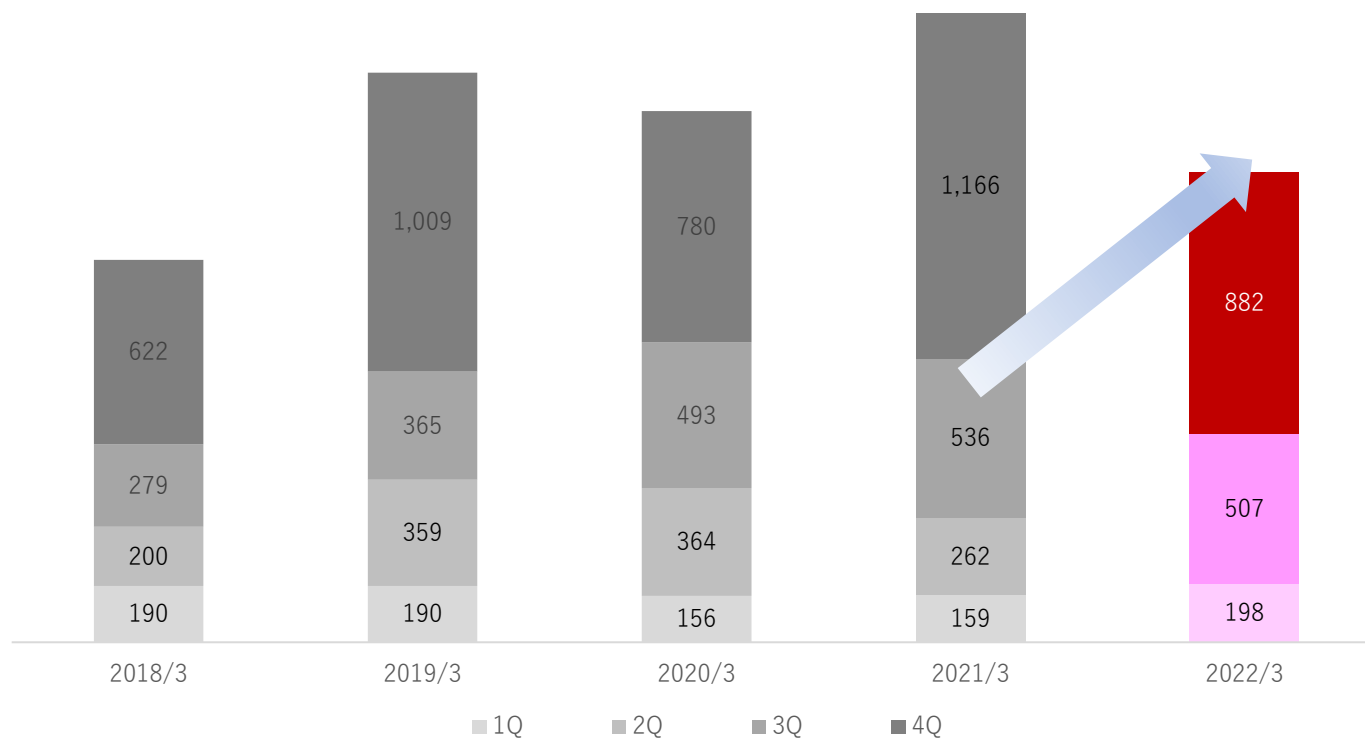
和歌山コンタクトセンターの増床(面積2.7倍)、ブース拡大で死活監視等を中心とした需要の取り込み

- ▶コロナ禍を背景に、DX、IoT分野が急激に拡大しデバイス数は増加、それに伴う死活監視やアクティブサポート案件の受注が好調。当社の全国施工・保守体制と組み合わせたトータルサービスでスモールスタートの需要にも対応可能で、市場優位性が高い。この需要を更に呼び込む為のブース増加でコンタクトセンター事業規模拡大を図る。

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

売上高

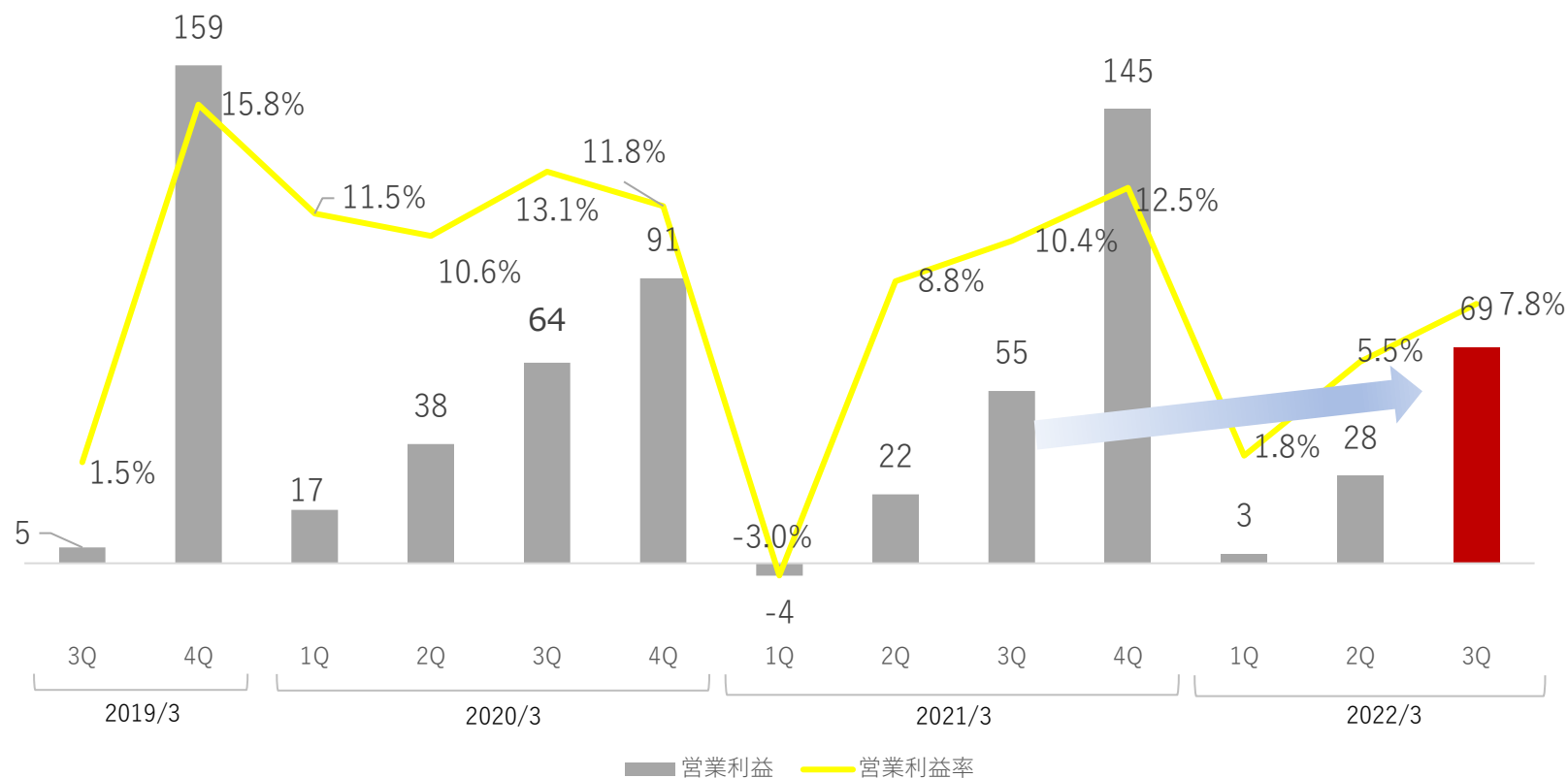
- ・ 単Q、累計とも過去最高の売上高を計上
- ・ 経済活動の再開進み営業環境引き続き改善、前期比大幅増収
- ・ 引き続き感染対策に配慮して営業活動推進
- ・ 大阪営業所開設、西日本方面の営業強化



3.セグメント別概況 HPC事業

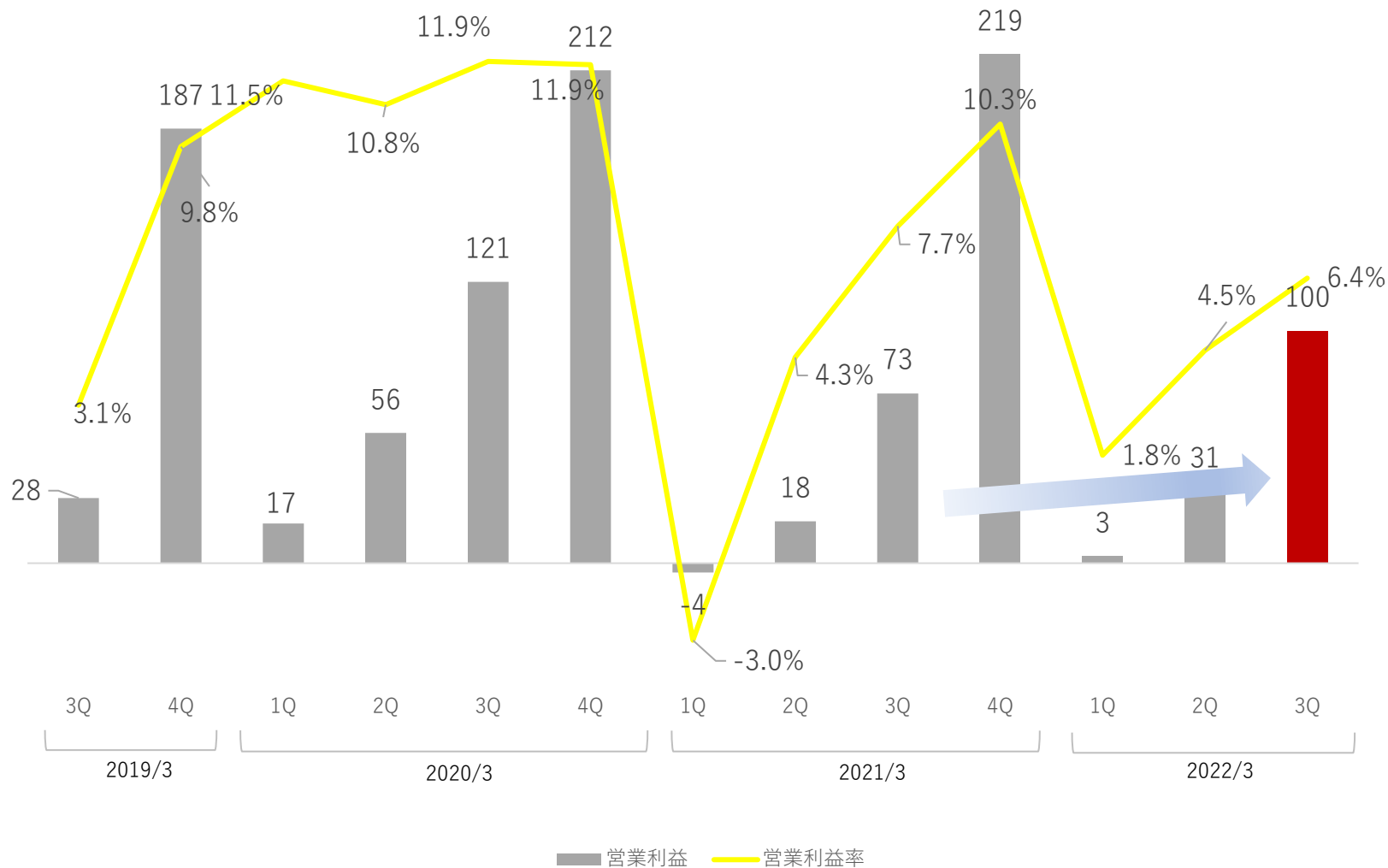
営業利益 会計期間

- ・部材原価高騰により粗利率はさらに低下するも増収幅大きく増益
- ・営業所開設、人員増加等で販管費増加も、粗利額増加で吸収
- ・在庫確保で将来収益維持図る
- ・営業範囲拡大による売上増加による利益の積み増し図る



3.セグメント別概況 HPC事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

キャンペーン、講演会実施

2021年10月7日 [キャンペーン]

A6000、A30、A100-PCIe

教育機関のお客様を対象にA6000、A30、A100-PCIeを特別価格にて提供する特別キャンペーンを引き続き実施。



2021年10月26日 [キャンペーン]

NVIDIA DGX Station A100 40GB・80GB GPU モデル

教育機関のお客様を対象にNVIDIA DGX Station A100 を特別価格にて提供する特別キャンペーンを実施。



2021年12月14日 [講演会実施]

第35回 数値流体力学シンポジウム CFD35

※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

大阪営業所開設、販路拡大へ

2021年10月21日 [営業所開設]

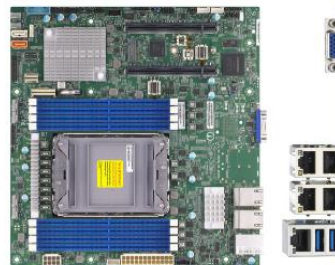
大阪営業所開設

西日本エリアへの販路拡張に伴い
大阪営業所を新たに開設。

2021年11月25日 [キャンペーン]

3rd Gen Intel Xeon プロセッサ搭載静音 ワークステーション

3世代 Intel Xeon プロセッサ（開発コード名：Ice Lake-SP）を 1基搭載した静音ワークステーション HPCT WCX31 を特別価格にて提供するキャンペーンを実施。



※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

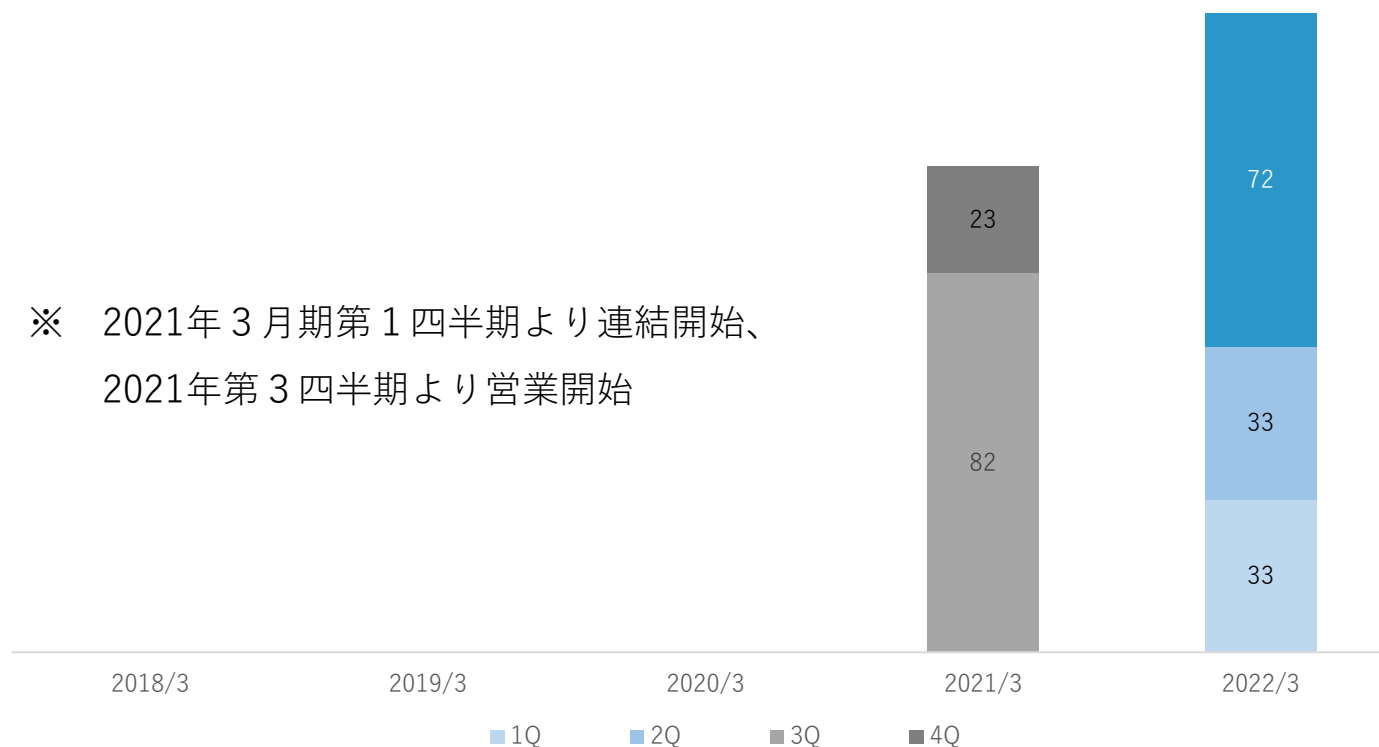
1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

3.セグメント別概況 その他事業

売上高

- ・ 緊急事態宣言解除後、徐々に予約数増加
- ・ 11月の紅葉シーズン、年末年始のハイシーズンは満室日もあり、11月、12月は増収達成
- ・ 閑散が予想される日程向けにキャンペーン投入、稼働率向上図る
- ・ 顧客満足度向上図り修繕、設備改善、季節の館内装飾に注力

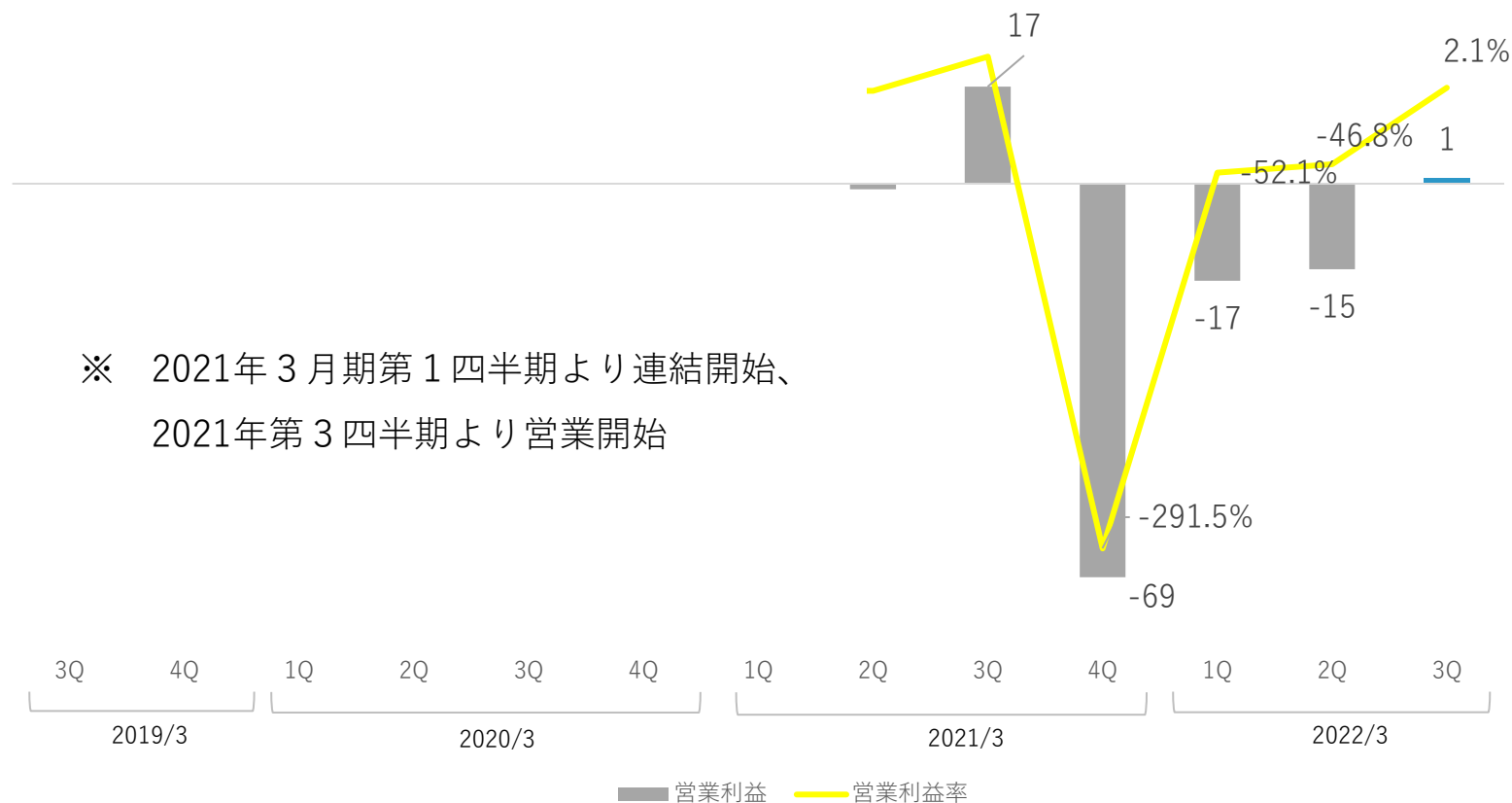
※ 2021年3月期第1四半期より連結開始、
2021年第3四半期より営業開始



3.セグメント別概況 その他事業

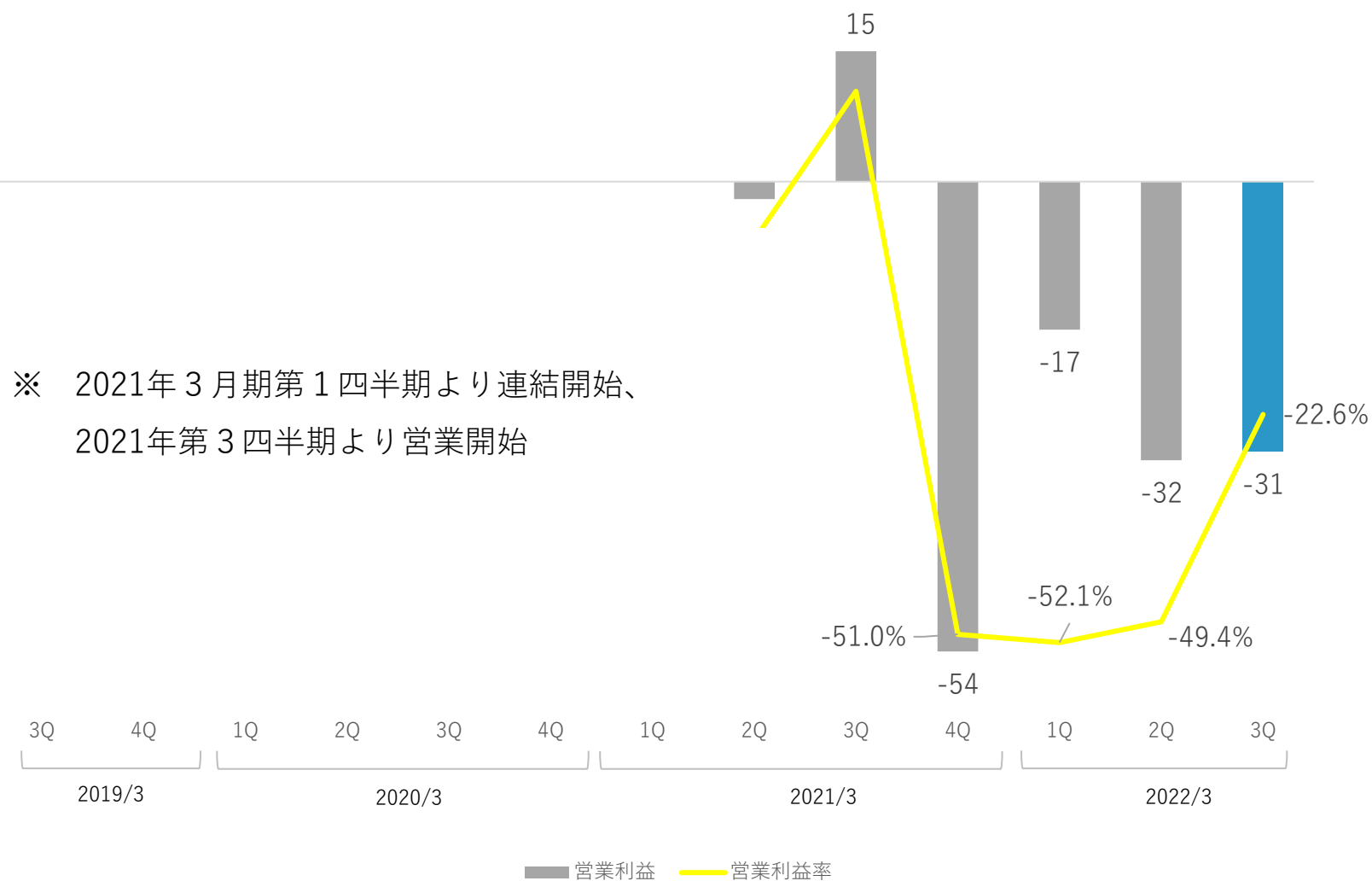
営業利益 会計期間

- ・修繕、設備改善、消耗費代替等の一時費用吸収し黒字化
- ・一部オンライン代理店での予約開放の効果もあり稼働率向上、粗利率微減も粗利確保
- ・デユースサービスの開始で粗利の積み上げを図る
- ・助成金、支援金等を活用し、減益幅を圧縮



3.セグメント別概況 その他事業

営業利益 累計期間



ニューストピックス

館内設備の改修、改善で快適性向上



家族風呂のメンテナンス補修実施

館内補修の一部として、家族風呂のメンテナンス補修を引き続き実施中。リニューアル後の満足度向上を図る。



客室設備、館内設備の修繕実施

客室内の設備（エアコン、風呂等）に続き
その他館内の設備も修繕実施。

※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

ニューストピックス

キャンペーンで集客強化図る



栃木県、隣県向特別割引実施

栃木県内にお住まいの方だけでなく、
栃木県の隣接県にお住まいの方を対象に
特別割引を実施。

季節に沿った館内装飾実施

宿泊者に向けた愛犬の撮影スペースを
設置し、季節に合わせた館内装飾も
行った。

※ 第3四半期累計期間終了後、2022年2月10日までに発表した情報を含む

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

4.総括

総括

第3四半期は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言も全面的に解除、企業活動や経済活動の再開がさらに進んだ一方で、新型コロナウイルスオミクロン株の流行懸念から再度の景気下押しが懸念されるなど、先行きの不透明感が継続する状況の中、通信、HPCは3Q単独で増収、全報告セグメントにおいて3Q累計期間で増収となり、利益においても、事業規模拡大による一時費用、増加固定費を吸収し、累計で増収に転じました。4Qに対しては、メモリにおいては半導体製品の供給難は継続し、製造販売への影響は無視できない状況ではあるものの、法人向け、産業用メモリの復調継続、IoTの堅調な推移を見込み、通信においては、過去最高の売上高、営業利益を計上したバディネットの拡大継続、HPCの堅調な推移、旅館の損失抑制を背景に、適切な状況判断と迅速な意思決定をとおして、通期業績予想の達成に向け努めてまいります。

	実績	実績	実績	予想	予想
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期累計	前期比	2022年3月期 予想	前期比
売上高	10,031	11,603	115.7%	15,000	101.7%
営業利益	469	470	100.2%	750	107.6%
経常利益	475	473	99.6%	750	109.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	258	302	116.7%	400	115.7%
一株当たり当期純利益	28.17円	32.88円	116.7%	43.55円	115.7%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく仮定に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見通し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「一株当たり当期純利益」を算定しております。

1. 2022年3月期第3四半期決算
2. 2022年3月期業績予想
3. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
4. 総括
5. 参考資料 AKIBAホールディングス会社説明

<商号>

株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）

<上場市場>

東証JASDAQ市場（スタンダード 証券コード：6840）

<設立>

1983年2月17日

<資本金>

7億円

<事業内容>

グループ会社の統括及び運営

<決算期>

3月末

<連結売上高>

147億円（2021年3月期）

<役職員数>

255名（連結 2021年3月末日）

<本社所在地>

〒104-0045

東京都中央区築地2-1-17 陽光築地ビル

Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

<役員>

代表取締役社長	馬場 正身
取締役 管理本部長 CFO	五十嵐 英
取締役 管理本部副本部長	富山 理布
取締役 グループ監査室長	後藤 憲保
取締役（社外）	丸山 一郎
取締役（社外）	黒部 得善
取締役（社外）	後藤田 翔
常勤監査役	石本 圭司
監査役（社外）	西田 史朗
監査役（社外）	中川 英之
補欠監査役（社外）	藤浪 努

<会計監査人>

KDA監査法人

<株主名簿管理人>

三井住友信託銀行株式会社

<顧問弁護士>

原 大二郎（ライジング法律事務所）
谷口 明史（北浜法律事務所）

1983年（昭和58年）	2月	株式会社アドテックを設立
1993年（平成5年）	6月	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
1997年（平成9年）	10月	株式額面変更のため株式会社エフ・ケー・インターナショナルと合併
1998年（平成10年）	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年（平成16年）	12月	ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2013年（平成25年）	5月	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
同年	7月	大阪証券取引所と東京証券取引所の現物市場の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
2013年（平成25年）	12月	株式会社チームエンタテインメントを買収
2015年（平成27年）	1月	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収、バディネットの完全子会社である株式会社モバイル・プランニングもグループに加わる
同年	10月	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
同年	12月	株式会社AKIBA LABO福岡を設立。福岡県飯塚市においてソフトウェア開発拠点を設置
2016年（平成28年）	3月	iconic Storage株式会社を買収
2017年（平成29年）	1月	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
2018年（平成30年）	2月	株式会社チームエンタテインメント株式を売却
2018年（平成30年）	11月	子会社の現物配当により株式会社モバイル・プランニングを直接保有の完全子会社化
2019年（令和元年）	7月	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
同年	7月	ミナトホールディングス株式会社と業務提携開始
同年	9月	株式会社モバイル・プランニング株式を売却
2020年（令和2年）	5月	株式会社ダイヤモンドベッツ&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
同年	10月	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」グランドオープン
同年	10月	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
2021年（令和3年）	4月	株式会社バディネットがiconic Storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併
同年	10月	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収



グループ企業一覧



株式会社AKIBAホールディングス

【純粋持株会社】
グループ会社の統括及び運営

メモリ製品製造販売事業

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社



メモリ製品の製造・販売
パソコン周辺機器等の販売
IoTソリューション事業
電子回路開発・設計・製造

通信コンサルティング事業

株式会社バディネット



エンジニアリング事業
BPO事業
通信コンサルティング事業
人材派遣・人材紹介事業
システム開発・受託事業
コンタクトセンター事業

HPC事業

株式会社HPCテック



科学技術コンピュータの製造・販売

その他事業

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート



旅館事業
ペット商品事業
IT事業
イベント事業
不動産事業

独自の技術開発力に基づいた高品質・高付加価値な製品を市場に提供し続けます。

代表取締役社長 下津 弘亨

IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品の技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献してまいります。

事業内容

■ メモリ製品製造・販売事業

パソコン・サーバ用増設メモリ、SDカードや microSDカード、USB フラッシュメモリ、SSD、CFカード、CFastカード等を製造・販売を行います。産業用・工業用・組込用途に適した部品固定・長期安定供給の製品群も数多くラインナップしています。

Memory module

メモリモジュール

- ▶ パソコン適合検索サイトをご用意
パソコン・サーバへの対応可否も容易に検索可能
- ▶ 高品質かつ長期安定供給体制の産業用向け製品の多数の納入実績



Flash Memory

フラッシュメモリ

- ▶ 民生用向け製品では、データ復旧サービスが付属した安心保証（一部製品）
- ▶ 豊富なラインナップの産業用向け製品の多数の納入実績



■ IoTソリューション事業

自動運転やスマートメーター、自販機まで、意識せずにインターネットに繋がるIoTが、広い範囲で我々の生活を支えています。当事業部は、様々な規模のIoTシステムと共に、関連機器、マイコン機器等についても、開発、製造、販売まで取り扱っています。

IoT System

IoTシステム

- ▶ IoTシステムとモデム、通信モジュールを用いたIoT端末の開発
- ▶ 実績のある協力会社と共に様々な分野のIoTシステム開発に対応します。



Toradex®

トラデックスモジュール

- ▶ ARM系CPUモジュール
- ▶ Toradex® の代理店販売、キャリアボード開発及び開発サポートを行います。



拠点

▶ 大阪営業所

大阪市中央区道修町1-5-18
朝日生命道修町ビル6階

▶ R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8
まちだテクノパーク センタービル7、8階

取り組み

■ 最先端メモリからレガシーメモリまでの幅広いラインナップをサポート

DDR4メモリ、M.2 SSD等の最先端メモリから、産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリ迄、幅広い製品ラインナップと製品サポートを継続展開していきます。

■ メモリメーカーの枠に捉われず、周辺機器メーカーとしての新しい取り組み

メモリ製品だけでなく、お客様のニーズにお応えする新しい周辺機器の製品開発を積極的に行っており、幅広いラインナップの展開、販売を行い、お客様のお役に立てる企業として、成長してまいります。

■ IoTシステム、端末 設計開発

- ▶ IoTシステムの構想、端末開発など、お手伝いします。
- ▶ LTEモデムからLoRaなどのLPWAモデムなど、多くの通信機器の実績があります。
- ▶ ハード/ソフト双方で相談ください。

■ OEM機器 受託開発/販売

- ▶ 民生/医用/車載等、様々な分野の受託開発に対応します。
- ▶ OEM機器の開発、量産、販売及び、サポートを行います。
- ▶ 構想検討から販売まで、実績のある協力会社と共に取り組みます。

■ ARM系CPUモジュール販売

- ▶ NVIDIA、NXP製(ARM系)CPUモジュールToradex®の代理店販売
- ▶ Toradex®モジュールを拡張するキャリアボードのカスタム開発
- ▶ Toradex®モジュール及びキャリアボードの技術サポート



名 称 : シーアールボックス株式会社
 設 立 : 2000年 2 月
 資本金 : 17,000,000円
 本 社 : 東京都八王子市大塚631-1
 U R L : <https://www.crbox.co.jp/>

技術、品質、コストパフォーマンスを追求すべくた ゆめぬ努力をし、社会に貢献する。

代表取締役 菊地 仁志

私もシーアールボックスは「回路設計における真の目的とは」を常に意識しその潜在化した問題を顕在化し、回路設計のアイデアで高次元にクリアすべく日々研鑽を重ねております。培ったアナログ技術にデジタル技術や既成概念にとらわれない最新技術を融合し、主力である電源のみならず様々な分野の課題を解決へと導くことが我々の使命と肝に銘じ、最高のパフォーマンスを発揮いたします。

事業内容

■ 各種マイコンユニット、電源モジュール等、電子回路開発・設計・製造

AC/DC、DC/DC、マルチ電源などの各種電源およびアイソレーションアンプ等のカスタム設計を得意としています。特に産業機器への採用実績が多数あり、高信頼性、長寿命、また長期安定供給への対応を得意としています。

自社開発製品

コンバータ

- ▶ AC/DCコンバータ (マイコン搭載、バッテリー充電制御・残量 計測機能、多出力同期SW、PFC+LLC[力率改善・ソフトスイッチング] etc.)
- ▶ DC/DCコンバータ (モールド式オンボード・マルチ出力・低ノイズ・高電圧入力・超低温起動・ケミコンレス・医療用高耐圧・車両搭載用[高信頼性] etc.)

DCモータ駆動回路

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

インバータ

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

アイソレーションアンプ

- ▶ 2ポート式、3ポート式、高耐圧、高精度トランス方式etc.

各種センサ回路、制御回路

- ▶ 各種センサ回路 (マイコン搭載高精度露点計、温度計、湿度計、降雪センサ、ガスセンサetc.)
- ▶ 各種制御回路 (電力制御回路[マイコン搭載・低ノイズトライアック制御]、各種冷暖房機用制御回路、ヒータ温度制御、ヒートポンプ制御回路、蓄熱暖房器、電気ボイラ、床下暖房、リモコンetc.)

LED関連

- ▶ AC駆動、DC駆動、電球素子、1/fゆらぎ制御etc.

柱上装置

- ▶ 搬送波通信制御装置



主要取引先

- ▶ 代理店 : エレマテック(株)、(株)レスターエレクトロニクス、(株)システック、富士エレクトクス(株)、(株)ジェムコ、日研機器(株)
- ▶ 主要顧客 : (株)安川電機、(株)日立製作所、(株)東光高岳、サンポット(株)

※敬称略、順不同

■ 海外パートナーシップ企業 (Universal Microelectronics社)

1984年に設立された台湾・台中市に本社がある台湾上場企業です。セミカスタマイズを得意としておりますので、ご要求にお応えした仕様で量産納入します。

会社概要

- ▶ 工場 台中本社工場、中国・深圳工場、ベトナム・ハノイ工場
※最新設備による最良の生産管理システムを導入し、日本企業からも高評価
- ▶ 取扱製品 電磁製品、電源製品、各種センサ、EMS



CRBOXの役割

- ▶ 輸入業務 (輸入事業者登録取得)、貨物の纏め輸入による輸送費コスト削減
- ▶ 不具合発生時の一次解析対応
- ▶ 設計支援 (設計を行い生産をUMECで行うことも可能)
- ▶ お客さまのご要望を最大限に受け入れた最適提案を実施



拠点

▶ 仙台事業所

宮城県宮城郡利府町花園2-6-1

取得認証

- ▶ 特許 ▶ 特開2010-054383 ガスセンサ装置 2010年03月11日 特許4326582
- ▶ 特開2009-270891 ガスセンサ装置 2009年11月19日 特許4353999
- ▶ 特開2008-301565 トライアック制御装置 2008年12月11日 特許4534063
- ▶ 特開2005-102050 遠隔操作システム 2005年04月14日 特許4208685
- ▶ 特開2001-037276 直流モータ駆動回路 2001年02月09日

通建テック™で建設業務を圧倒的に低コスト化。 IoT/5G時代に通信建設を変革していきます。

代表取締役社長 堀 礼一郎

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこそ旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。

事業内容

■ エンジニアリング事業

高度化する企業のネットワーク・インフラ構築を確かな技術力でサポートします。

Mobile Engineering

モバイルエンジニアリング

移動体通信局構築工事
5G/L5G/LPWA 等、
IoT構築、電波不感知対策、
無線基地局設計
屋内電波対策工事

Network Engineering

ネットワークエンジニアリング

FTTH光・WAN・LAN、
電気・電話 設備、
Wi Fi 構築、ネットワークカメラ

Field Support

フィールドサポート

全国保守サポート
IT機器の設置・交換

■ コンタクトセンター事業

Contact Center Service

コンタクトセンターサービス

高品質、スピードをキーワードに掲げ、
お客様のご要望に応じた最適なコンタクト
センターソリューションを提供します。

カスタマーサポート、テクニカルサポート、
アウトバウンドコール、コンサルティング、
CRMソリューション

■ 通信コンサルティング事業

Mobile Consulting

モバイルコンサルティング

全国600名の経験豊富なセールスチームと実
績のあるコールセンターが貴社の売り上げ拡大
をサポートします。

新規訪問営業
ルート営業
インバウンドサービス
アウトバウンドサービス

契約・収納
カスタマーサポート

■ BPO事業

BPO Service

BPOサービス

お客様の課題を業務設計から
業務の効果分析、改善案実
行による業務効率化まで一括
して支援します。

スキーム構築 マーケティング
営業支援 サポートデスク
施工・設置 デザイン・開発支援
保守・メンテナンス バックオフィス
等

■ システム開発・受託事業

System Engineering

システムエンジニアリング

情報通信機器を中心にハード機器・ソフトウェアの設
計開発をサポートします。

各種ソフトウェア開発（受託・SES）
ネットワーク構築
IoT研究開発
エンジニアリングサービス
コンサルティング

■ 人材派遣・ 人材紹介事業

Buddy Staffing バディスタッフィング

企業活動に必要な様々な
分野の人材を紹介します。
施工管理、オフィスワーク、
コールセンター
セールス・プロモーション、
軽作業 他

拠点

■ 営業所

【新宿営業所】新宿区新宿6-5-1新宿アイランドタワー6F

【大阪営業所】大阪市中央区道修町1-5-18朝日生命道修町ビル6階【和歌山CS】和歌山市本町

【福岡営業所】福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3F 【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

■ コンタクトセンター

【東京CS】中央区築地

【和歌山CS】和歌山市本町

【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

取得認可

▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504

許可年月日：2016年6月1日

▶ 職業紹介事業

許可番号：13-ユ-308341

許可年月日：2016年12月21日

▶ 商標

「通建テック」出願番号 2020 100938

「通信建設テック」出願番号 2020 100937

▶ 特許

ポリマテリアル充填工法

▶ 建設業許可

許可番号：電気工事業（特2）

第140501号、

電気通信工事業（般30）

第140501号

許可年月日：2013年8月30日

取り組み

安全品質管理の体制

当社は、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全で
かつ安心な品質を確保します。

▶ 安全パトロールの実施

▶ 事故事例検討会の実施

▶ 安全衛生協議会の実施

▶ 情報セキュリティ事務局の設置

▶ 施工安全計画書の策定

個人情報保護

当社は、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に
関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社
会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事
業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。

国際的な競争力の強化と人々が自己実現できる 豊かな社会を目指し最善の努力をつくします。

代表取締役 奥山 義弘

21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業のよりよい未来を創造する事でしょう。

我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人との繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

事業内容

科学技術コンピュータ製造・販売事業

高度な科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

Hardware

ハードウェア

デスクトップ計算機
GPU計算機
Xeon Phi計算機
ラックマウント型計算機
ポータブル型計算機
大容量ストレージサーバ

サーバメモリ
インフィニバンド
フラッシュストレージ
無停電電源装置
サーバラック・静音ラック

Software

ソフトウェア

クラスタ管理ツール
ジョブスケジューラ
コンパイラ
構造・流体
マルチフィジクス
化学・量子化学
物理・電子
電磁界
可視化
数値解析
クラウド支援ツール

Set Up Service

セットアップサービス

OSセットアップ
GPUアクセラレータセットアップ
Deep Learningセットアップ
Singularityセットアップ
Deep Learning用サンプルプログラム
復旧用リカバリーUSB作成サービス
コンパイラセットアップ
各種アプリケーションのインストール代行作業

ネットワーク設定
MPI並列計算環境セットアップ
ジョブ管理ソフトセットアップ
クラスタ設定
RAID設定
設置サービス
訪問相談サービス

取得認証

ISO9001 : 2015 (品質の保証)

登録証番号 : GIJP-0193-QC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

認証範囲 : HPC 製品（科学技術計算器）の組立・販売・サポート

ISO14001 : 2015 (環境にやさしく)

登録証番号 : GIJP-0193-EC

初回認証登録日 : 2018年10月1日

主要取引先

東京大学	東京工業大学	トヨタ自動車	凸版印刷	産業技術総合研究所
京都大学	広島大学	デンソー	ソニー	理化学研究所
東北大学	横浜国立大学	日本製鉄	オリンパス	海洋開発研究機構
大阪大学	早稲田大学	鹿島建設	住友電工	宇宙航空研究開発機構
九州大学	慶應義塾大学	東芝	NTT	遺伝研
北海道大学	明治薬科大学	三菱電機	楽天	等
名古屋大学	慈恵医科大学			
筑波大学				

※敬称略、順不同

取り組み

品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶ 環境関連法規制等の順守
- ▶ 環境保全活動の継続的な推進

次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘亨

当社は過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図って参ります。また当社グループの株式会社アドテック、株式会社バディネットの事業であるIoT 分野及び通信分野（5G やIoT 通信）において、この鬼怒川絆を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行って参ります。また地元密着で、IT 関連の実証実験や製品販売の推進、IT 技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図って参ります。

事業内容

旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達絆スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行なう総合ペット商品事業の構築を目指して参ります。

IT事業

当社グループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoC ビジネスのIT 化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献して参ります。又、ペットとの暮らしのQOL 向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発の進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進して参ります。

取得認証

温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/ 9号/ 10号/11号/12号/13号/14号 /
 15号/ 16号/17号/18号
 許可年月日：2020年8月27日

飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号
 許可年月日：2020年8月25日

旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号
 許可年月日：2020年8月28日

イベント事業

2020年10月1日に栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川 絆」の運営事業をスタートさせましたが、旅館運営にとどまらず、地元の活性化に貢献することで、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにしてまいります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

不動産事業

当社の行なう旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。そのため、当社は、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロバティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をして参ります。

施設概要

名称：鬼怒川 絆
 住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-4
 電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）
 メール：info@diamondpets.co.jp
 ホームページ：<https://kizuna-kinugawa.com/>
 仲居ブログ：<https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/>





<https://www.akiba-holdings.co.jp/>